

エコーネットコンソーシアム活動報告（2023年10月～12月）

分類	活動状況
トピックス	<p>① オープンバッジによる ECHONET IoT MASTER 認定証配布開始 ECHONET IoT MASTER 認定証の「オープンバッジ」による配布を開始しました。オープンバッジは世界共通の技術標準規格に沿って発行されるデジタル証明・認証です。資格証明として使用でき、SNS での共有も可能です。</p> <p>② ECHONET Lite Web API が、能美市の高齢者見守りシステムに実装 『ECHONET Lite Web API』が、『イエナカデータ連携基盤』と共に石川県能美市における高齢者見守りシステムに実装されました(2023年10月)。エコーネットコンソーシアムは、JEITA とデジタル田園都市国家構想とスマートホームの連携に関する共同報道発表を行ないました。</p> <p>③ ワークショップ 10/5 に慶応義塾大学との共催で、ワークショップを開催しました。</p> <p>④ 展示会 10/17 から開催された CEATEC 2023 に、デジタル田園都市国家構想とスマートホームの連携をテーマに出展しました。</p>
企画運営委員会	<p>① オープンバッジによる ECHONET IoT MASTER 認定証配布開始 ECHONET IoT MASTER 認定証の「オープンバッジ」による配布を開始しました(2023年10月)。オープンバッジは世界共通の技術標準規格に沿って発行されるデジタル証明・認証です。ブロックチェーン技術を活用することにより、偽造や改ざんが困難な信頼性の高いデータとして授与されるため、資格証明として使用でき、SNS での共有も可能です。講座や研修、資格試験などの修了証明として活用することで、その人のスキルを可視化することができます。</p> <p>② ECHONET 2.0 技術セミナー第 10 タームを開催 ECHONET IoT MASTER 資格取得に必要な ECHONET 2.0 技術セミナーの第 10 タームを、12/5～12/6 にインターネット・アカデミーが開催しました。</p>
技術委員会	<p>① 機器オブジェクト詳細規定 APPENDIX ECHONET 機器オブジェクト詳細規定 Release R rev.1 を一般公開しました(2023年11月)。</p> <p>② アプリケーション通信インタフェース仕様書 低圧スマート電力量メータ・コントローラ間 AIF 仕様書 Ver.1.10、高圧スマート電力量メータ・EMS コントローラ間 AIF 仕様書 Ver.1.01、双方向対応高圧スマート電力量メータ・コントローラ間 AIF 仕様書 Ver.1.00、および各仕様書に該当する認証試験仕様書を公開しました。(2023年11月)</p> <p>③ ECHONET Lite Web API ECHONET Lite Web API ガイドライン API 仕様部 Version 1.1.6 に対応するために、「ECHONET Lite Web API 実験クラウド」を更新しました(2023年11月)。</p> <p>④ プラグフェスト ECHONET プラグフェスト第 30 回(2023年9月6、7日開催)の開催レポートを掲載しました。</p>
普及委員会	<p>① ECHONET Lite Web API が、能美市の高齢者見守りシステムに実装 『ECHONET Lite Web API』が、『イエナカデータ連携基盤』と共に石川県能美市における高齢者見守りシステムに実装されました(2023年10月)。能美市と実施事業者はこの報道発表を、エコーネットコンソーシアムは JEITA とデジタル田園都市国家構想とスマートホームの連携に関する共同報道発表をそれぞれ行ない、メディア等で多くの反響がありました。</p> <p>② ワークショップ 10/5 に慶応義塾大学との共催で、ワークショップを開催しました。エコーネットコンソーシアムの活動状況を報告すると共に、アグリゲーションビジネスの標準化状況、アグリゲーションビジネスにおけるセキュリティ、などについてディスカッションしました。</p> <p>③ 展示会 10/17 から開催された CEATEC 2023 に、デジタル田園都市国家構想とスマートホームの連携をテーマに出展しました。会場ブースへの来場者は 843 名、リアル会場のセミナー聴講者は 157 名、オンライン開催のエコーネットコンソーシアムセミナー来場者は 2002 名を数え、大変盛況でした。</p> <p>④ 防災 DX 官民協創協議会に参加 防災関連の連携を強化するために、エコーネットコンソーシアムとして防災 DX 官民協創協議会に参加しました(2023年12月)。今後、関係省庁や他団体との情報共有を進めます。</p> <p>⑤ ECHONET 2.0 普及活動 ECHONET 2.0 普及促進のため、10/31 にスマート IoT 推進フォーラム技術標準化分科会で、12/13 に JEITA 無線通信システム専門委員会で、12/14 に住宅団体連合会で、それぞれ活動状況を説明しました。</p>